

令和元年度

事業報告書

平成31年 4月 1日から
令和 2年 3月31日まで

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

目 次

(令和元年度事業報告書)

1. 必要な図書、記録、資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業・・・ 1ページ
 - (1) 上杉家・米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品の収集と調査研究を体系的に進める
 - (2) 地域の人々が郷土に誇りと愛着をもち、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示をめざす
 - (3) 市民に必要なかつ有用な図書・記録等の収集に努め、広く利用に供し、相談に応じる
 - (4) 文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る

2. 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業・・・ 9ページ
 - (1) 家庭教育の向上や学校の学習活動の支援に力を注ぎ、子どもの読書活動を推進する
 - (2) 日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、学社連携を推進する
 - (3) 生涯学習施設、また地域の交流拠点として、市民の学習と活動の機会を提供する
 - (4) 市民の経験や知識及びボランティアと協働し、各施設のサービスの充実に努める

3. 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業・・・ 17ページ
 - (1) 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会を提供し、芸術・文化活動の創造気運を高める
 - (2) 充実した展示機能で新たな芸術活動にも対応し、市民の活動成果を広く公開する
 - (3) 活動を楽しみ交流する場を提供し、次世代を担う子どもや若手芸術家を育成する
 - (4) 能舞台を活用して伝統芸能の継承・普及につながるプログラムを展開する

4. 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業・・・ 22ページ
 - (1) 上杉家・米沢藩及び郷土作家研究の拠点として、広く開かれた施設をめざす
 - (2) 市民の伝統文化活動を支援するとともに、歴史・芸術・文化の情報発信に努める
 - (3) 利用者の声を集め反映する仕組みを整え、市民に開かれた運営をめざす
 - (4) 上杉文化エリアの施設・団体と協力し、価値ある文化及び観光の交流拠点をめざす
 - (5) まちづくりネットワークと連携し、にぎわいと活力あるまちづくりに寄与する

5. 財団の適正な運営に関する事業・・・ 25ページ
 - (1) 公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める
 - (2) 施設個々の機能の向上と発揮に努めるとともに、施設相互の適切な連携を進める
 - (3) 入場者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む
 - (4) 複数の内部評価・外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める

事業報告

1 必要な図書・記録・資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業

(1) 上杉家・米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品の収集と調査研究を体系的に進める

①資料の収集・調査

米沢市上杉博物館資料収集基本方針及び市立米沢図書館資料収集方針に基づき、収蔵資料の充実をはかるために図書・資料・作品の収集活動を行った。また、収集した資料の調査研究を計画的に進めた。

ア 米沢市上杉博物館

(ア) 歴史関連資料

寄託資料の概要調査、収集資料の目録作成と、上杉氏および米沢藩ゆかりの資料をはじめとした郷土ゆかりの資料の追跡・発掘調査、資料収集に伴う調査を行った。

(イ) 美術関連資料

本年度以降に開催を計画している展覧会の出展予定資料及び郷土出身作家に関する継続的な調査、資料収集に伴う調査を行った。

新規受入資料数	:	26件 (約850点)
資料収集検討会議	:	令和元年 7月30日 (火)
		令和2年 1月30日 (水)

イ 市立米沢図書館

(ア) 郷土資料

郷土ゆかりの資料(図書、雑誌、古典籍、古文書等)を調査収集し、市民からのレファレンスに幅広く対応した。また本年度は愛宕地区の神社、堂宮の郷土資料調査を行い、消失の進む資料、伝承、民俗の記録を残すため報告書を作成した。

新規受入資料数	:	1,032点 (書籍・雑誌等)
---------	---	-----------------

②次年度展覧会準備

米沢市上杉博物館における平成31年度以降の展覧会に備え、下記の準備を行った。

- ・「生誕100年 福王寺法林展」のための打ち合わせ
- ・「関東管領上杉謙信」展のための資料調査、打合せ
- ・「138億光年 宇宙の旅」展のための打合せ
- ・「米沢市上杉博物館×綴プロジェクト展」のための打合せ
- ・狩野派展開催のための打ち合わせ、調査
- ・上杉家伝来能面、能装束展のための打合せ
- ・米沢城展、上杉鷹山展のための資料調査
- ・上杉家と徳川将軍家および関連大名の調査
- ・上杉家と関連公家の調査
- ・今泉篤男展にむけた調査

(2) 地域の人々が郷土に誇りと愛着をもち、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示をめざす

①米沢市上杉博物館

ア 企画展示事業

年間入場者数 : 47,942名

米沢市上杉博物館企画展示室において年間5本の企画展を開催した。

企画展示	概要
i) 特別展「上杉家 葵の姫のものがたり —徳川家三姉妹の守刀—」	
<p>■会期(50日間) 平成31年 4月20日(土) ～6月9日(日)</p> <p>■入場者数 15,846名</p>	<p>江戸時代の米沢藩主上杉家の縁組および華族となった近代上杉家の婚姻を紹介した。米沢藩主から華族制度がなくなるまでの上杉家当主は15人、正室は武田・四辻・鍋島・保科・紀州徳川・黒田・山内・尾州徳川・浅野・讃岐松平・細川・高須松平・大給松平・鷹司・徳川宗家などから迎えた。本展覧会では、「葵の姫」であった徳川家出身の女性を中心に紹介した。</p> <p>上杉家16代当主上杉隆憲夫人敏子は徳川宗家徳川家正の二女で、上杉家に嫁ぐ際、守刀として「短刀 銘 国光」を贈られた。敏子の長姉豊子は会津松平家に、妹順子は高遠保科家に嫁ぐ際、同じように守刀を持参した。徳川宗家に生まれた三姉妹の一堂に会した守刀や古写真などで、近代華族の婚礼を知る機会とした。</p>
ii) 「生誕100年 日本画家 福王寺法林 ～自然へのまなざし～」	
<p>■会期(47日間) 令和元年 6月15日(土) ～8月4日(日)</p> <p>■入場者数 4,792名</p> <p>■協力 大阪府日本万国博覧会 記念公園事務所</p> <p>■後援 山形新聞、山形放送</p>	<p>米沢出身の日本画家 福王寺法林(1920-2012)の生誕100年を記念し、展示全体を「1. 日本画家 福王寺法林の誕生」、「2. ライフワークヒマラヤ」、「3. 夜景に挑む」、「4. 日本回帰」の4章に区分し、狩野派に学び、伝統的な院展に身を置きながら常に新しい課題・姿勢で次々と挑んだ福王寺法林の作品の変遷と挑戦の軌跡を再発見するとともに、太陽に照らされた植物の葉、土のにおいをミクロで感じ、自然を鳥瞰し、マクロで掴み取っていた法林の自然へのまなざしが身体的「眼」だけではなく「心の眼」として結実していく様子を紹介した。日本画での表現が困難である夜景に挑んだ代表作「万博夜景」を初公開した。</p> <p>本展覧会は「日本博」に認証された。</p>
iii) 企画展「木のおもしろワールド 杉山明博造形の世界」	
<p>■会期(37日間) 令和元年 8月10日(土) ～9月16日(月祝)</p> <p>■入場者数 5,265名</p> <p>■企画制作 オフィス・ マッチング・モウル</p>	<p>木の造形家・静岡大学名誉教授の杉山明博氏の展覧会として開催した。「アートでZOO」「あかりの造形」「日本人のこころと私たち」の三部構成とし、一部体験を通して「豊かな感性」「発想力」「日本の伝統」など、教育者として杉山氏が長年テーマとしてきたメッセージを発信。木の魅力と造形作品の楽しさ、面白さに触れることはもちろん、造形作品という形のあるデザインを通して、考え方、暮らし方、生き方という目に見えないデザインを問いかけた。</p> <p>また、「米沢の木」のコーナーを設け、笹野彫やこけしなどの館蔵資料のほか、米沢箆笥、木のあかりなどを紹介した。</p>

iv) 特別展「上杉家 武家の文化 公家の文化」	
■会期 （58日間） 令和元年 9月21日（土） ～11月24日（日） ■入場者数 14,320名	上杉氏の歴史の中で、古文書や美術工芸品などから武家と公家の文化を検証した。武家文書研究の最高峰である国宝上杉家文書の価値と魅力をあらためて紹介するとともに、上杉氏や長尾氏と朝廷や公家とのやりとりの文書に着目し、新たな発見を紹介した。同時に上杉家伝来の絵画、文芸書、刀剣、装束などの優品を一堂に展示した。 十二単の着装実演をもって展覧会をオープンするなど工夫し、会期中、新天皇即位の大嘗祭もあって関心を高めた。源氏物語最古の古写本の発見は、講演者藤本孝一氏の専門とするところでもあり、関連事業も充実した。
v) コレクション展「米沢藩 武士のお仕事」	
■会期 （62日間） 令和2年 1月11日（土） ～3月22日（日） ■入場者数 7,719名	米沢藩士をテーマに、奉行（家老）から足軽以下までの階層と組織、軍事・政治・家政、文芸と武芸、医学、諸職人まで多彩な仕事を紹介した。展示構成は「戦の備え」、「藩政の確立」、「階層と役職」、「戦に準じる（江戸勤番と火消し役）」、「技芸と内職」、「幕末・明治」とした。館蔵資料の調査と整理を進め、館蔵資料の新たな価値と魅力の発信、新規収蔵資料の初公開に努めた。子ども向けキャプションや、補助的な図表パネルをじっくりご覧になる方の姿がみられた。 会期後半には新型コロナウイルス感染症発生の影響があったものの、米沢の武士への関心の高さや、下級藩士の暮らしぶりへの親近感もあり、想定以上の来館者があった。

イ 常設展示事業

年間入場者数：61,535名

米沢市上杉博物館常設展示室の運営を適切に行った。

上杉文華館では、「米沢初一部250年記念 上杉家文書にみる上杉鷹山」を年間テーマに、国宝「上杉家文書」を中心とした資料を6つの小テーマで紹介した。コレクショントークは、テーマ一期間につき、上杉家文書に関するもの（A）と洛中洛外図屏風に関するもの（B）を2回行うよう計画した。

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」は、春（4月20日（土）～5月19日（日））と秋（10月26日（土）～11月24日（日））に原本を展示した。

テーマ期間	テーマ	コレクショントーク
i) 3月26日（火） ～5月24日（金）	「鷹山の人柄」	A：4月7日（日） B：5月12日（日）
ii) 5月25日（土） ～7月23日（火）	「改革をめぐる」	A：6月2日（日） B：7月7日（日）
iii) 7月25日（木） ～9月22日（日）	「子女たちの旅立ち」	A：8月4日（日） B：9月1日（日）
iv) 9月23日（月祝） ～11月21日（木）	「敬老の心」	A：10月6日（日） B：11月4日（月祝）
v) 11月22日（金） ～1月19日（日）	「老いと病」	A：12月1日（日） B：1月5日（日）

vi) 1月21日(火) ～ 3月20日(金祝)	「大名として」	A: 2月 2日(日) B: 3月 1日(日)
-----------------------------	---------	----------------------------

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月1日のコレクショントークは中止した。

②市立米沢図書館

郷土の先人たちを称える先人顕彰コーナーにおいて年間7本の展示を開催した。郷土資料コーナーでは古典籍や古文書等所蔵資料をもとにした展示を行った。

ア 先人顕彰コーナー

展 示	概 要
i) 「上杉茂憲展」	
■会期 (5 4日間) 平成31年 3月29日(金) ～ 5月22日(水)	米沢藩の最後の藩主で、第2代沖縄県令をつとめた上杉茂憲の没後100年に合わせ、上杉茂憲の生涯と事績を、上杉博物館の資料(上杉家寄託資料を含む)と所蔵資料で紹介した。 また、展示に合わせミニ講演会「上杉茂憲 ―最後の米沢藩主と沖縄―」を開催した。
ii) 「有為会130年の歩み」	
■会期 (3 4日間) 令和元年 5月24日(金) ～ 6月26日(水)	米沢有為会の創立130年の年にあたり、米沢市で開催される有為会の総会・記念講演会に合わせ、米沢有為会と共催で米沢有為会の130年の歴史を振り返る展示を行った。有為会と共同で作成したパネル展示を主とし、覗きケースでは有為会雑誌や寮史等を展示した。
■共催 米沢有為会	
iii) 「よねざわ漢詩の世界」	
■会期 (5 4日間) 令和元年 6月28日(金) ～ 8月21日(水)	初代米沢図書館の建立地は、直江兼続が「禅林文庫」を創設した法泉寺境内である。そこは藩主が観月会等を催し、藩主・米沢藩士百人から集まり、詩歌が生まれた場所であり、米沢の文芸の中心地であった。館の歴史につながる米沢の漢詩文化について、ナセBA開館3周年を記念して、所蔵資料を用いて展示を行った。
iv) 「平田東助展」	
■会期 (6 2日間) 令和元年 8月23日(金) ～10月23日(水)	東京都町田市に建設されていた平田東助像が米沢市(米沢市すこやかセンター敷地)に移設されることに合わせて開催した。山形県立図書館や米沢市上杉博物館で所蔵する資料に加え、山形県立米沢商業高校で所蔵する扁額「至誠」を展示。米沢市農林課と共同で作成したパンフレット(A4・カラー・12ページ)500部を配布した。
■共催 米沢有為会	
v) 「我妻碧宇展」	
■会期 (6 1日間) 令和元年 10月25日(金) ～12月25日(水)	米沢市上郷出身であり、主に名古屋市において活躍した日本画家・我妻碧宇について、その画歴をたどるとともに、米沢市上杉博物館に所蔵される移管資料、並びに昭和44年に博物館で開催された「郷土出身在京画家作品展」出品作品などを展示し、氏と米沢との関わり、晩年に見られる故郷への思いを紹介した。

vi) 「写真で見る米沢のむかし展：part 2」	
■会期 （22日間） 令和元年 12月27日（金） ～令和2年 2月26日（水）	前は昭和40年代の米沢市平和通り周辺の様子を写真展示したが、今回は米沢の観光シンボルのひとつである上杉神社周辺や上杉まつりの様子を写真展示した。利用者からたくさんの感想が寄せられ、「懐かしい」「写真展をもっと頻繁にしてほしい」との声を頂いた。
vii) 「図書館の絵図展6 江戸屋敷絵図」	
■会期 （27日間） 令和2年 2月28日（金） ～3月25日（水）	天明5年（1783）の桜田邸絵図（地域史料）と、白金御殿絵図（竹俣家文書84）の大型絵図を展示するとともに、覗きケースで江戸勤の手引書や、江戸御留守居の高橋平左衛門宛の書状を紹介した。

イ 郷土資料コーナー

古典籍・古文書等の特色ある所蔵資料を紹介した。

展 示	概 要
i) 「新収蔵品展」	
■会期 （59日間） 平成31年 4月 1日（月） ～ 5月31日（金）	平成30年度に購入した『置賜花くらべ』や『防空演習記念写真帖』等の展示を行った。
ii) 「当館古典籍に見る、令和および平成、昭和、大正、明治の出典」	
■会期 （44日間） 令和元年 6月 1日（土） ～ 7月15日（火）	令和の元号に改元されたことから、当初の予定を変更して開催した。令和及び平成・昭和・大正・明治の各元号の出典を、「万葉和歌集」や「史記」「書経」「易経」といった古典籍で紹介した。
iii) 「奥羽編年史料」	
■会期 （36日間） 令和元年 7月16日（土） ～ 8月21日（水）	市立米沢図書館の第2代図書館長で郷土史家としても著名な伊佐早謙が編纂した史料集「奥羽編年史料」（全53冊・地域史料）を展示し、伊佐早の業績の一端を紹介した。
iv) 「古今和歌集」	
■会期 （39日間） 令和元年 8月23日（金） ～ 9月30日（日）	「古今和歌集」（興譲館本コー22、23）、「古今伝授切紙」（コー24）を展示した。「古今伝授切紙」等は、民権運動家で白子神社の神職でもあった清水彦介が明治42年（1909）の当館開館時に寄贈したものである。
v) 「里のしるべ」	
■会期 （59日間） 令和元年10月 1日（月） ～11月30日（金）	明治9年（1876）に米沢で出版された児童向けの置賜の地誌書「里のしるべ」（林泉文庫59及び郷土資料）を展示・紹介した。
vi) 「新古今和歌集」	
■会期 （54日間） 令和元年12月 1日（土） ～令和2年 1月31日（金）	「新古今和歌集」（興譲館本シー443）や「詠歌大概」（林泉文庫261）、「百人一首師説秘伝」（興譲館本ヒ15）等、新古今和歌集関連の古典籍を展示した。特に「詠歌大概」（藤原定家著）は、題箋に「宇津江友清手蹟」

	とあり、これを筆写したのは上杉景勝の時代に「越後三筆」といわれた宇津江九右衛門朝清だと考えられ、大変流麗な書体で書かれたものである（古典籍・古文書 解説シート No.6 を作成）。
vii) 「判所関係資料」	
■会期（53日間） 令和2年 2月 1日（土） ～ 3月25日（水）	米沢藩で通行手形を発行した役所である判所に関する史料を展示し、江戸時代の通行の様子を紹介した。判所の設立の経緯を記した竹俣当綱著の「国政談」（竹俣家文書66）や、判所に関する法令集「判所改所御令條書」（赤井家文書1）、判所や番所の印鑑を捺した「俗行印鑑」（田村家文書7）などを展示。

ウ 郷土資料特集コーナー

先人顕彰コーナーで開催した「よねざわ漢詩の世界」、「写真で見る米沢のむかし展：part2」等の展示にあわせ、関連する書籍を紹介した。また、季節にあわせ「米沢の年末年始」といった特集を組んだ。

（3）市民に必要なかつ有用な図書・記録等の収集に努め、広く利用に供し、相談に応じる

①図書・記録等の収集

市立米沢図書館では資料収集方針や選定基準、受入基準等に基づき、館蔵図書・資料の充実をはかるため、図書、資料の収集活動を行った。

新規購入資料数 : 10,651点（DVD・CDを含む）
寄贈受入資料数 : 1,197点（DVDを含む）
選書会議 : 毎月休館日に開催

②図書・記録等の提供

ア 市立米沢図書館

（ア）図書及び図書館所蔵資料の貸出・閲覧、返却

所蔵する本、雑誌、新聞、CD・DVD、インターネット・データベース、マイクロフィルム資料について、利用者への貸出あるいは閲覧に供した。また自動車文庫車「アタゴオル」で市内の公共施設、教育施設、福祉施設等を巡回し資料の貸出や返却を行うことで、広く市民へ図書館のサービスを提供した。

本館貸出冊数 : 410,168冊
自動車文庫車アタゴオルでの図書貸出冊数 : 35,840冊（月72箇所巡回）

（イ）相互貸借

利用者の求めに応じ他館との資料の相互貸借を円滑に行い、適正な貸出・返却作業を行った。また、他図書館からの求めに応じ、所蔵資料を提供した。

他館への貸出冊数 : 440冊
他館からの借受冊数 : 368冊

（ウ）複写サービス

著作権の範囲内で資料の複写サービスを行った。遠隔地からの複写依頼にも対応した。遠隔地からの複写依頼への対応 : 25件

イ 米沢市上杉博物館

(ア) 情報ライブラリーの展開と更新

企画展に関する書籍のコーナーを設置し蔵書を充実させるとともに、書籍の排架の仕方を工夫するなど、閲覧者の利便性に配慮した。また蔵書の点検と整理作業を行い、図書整理サポーターと協働しながら書庫の整備に努めた。さらに、コンテンツ「明和六年米沢城下絵図デジタルマップ」のWEB版、機能追加版を製作し公開した。

新規受入図書資料数 : 986冊

③レファレンス

市立米沢図書館では、各種レファレンスに回答し来館者サービスを推進した。また所蔵資料や展示資料等についての質問にも答え、特に郷土米沢に関する質問については特設のレファレンスカウンター（郷土資料調査相談）にて対応した。

一般レファレンス	カウンター対応	160件
郷土資料レファレンス	調査を要するもの	101件
	来館者や電話によるもの	多数

(4) 文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る

①収蔵・展示環境整備

資料や設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進め、より良い博物館展示環境の維持、図書館貴重書庫の保全に努めた。またIPM（総合有害生物管理）を年間通して取り組み、博物館、図書館全体で、収蔵・展示環境の向上を継続的に行った。

【主な活動内容】

- ・粘着トラップの設置
- ・展示ケース内アートソープ入替え
- ・空気環境調査
- ・新収蔵資料の燻蒸、作品のクリーニング
- ・一般、特別収蔵庫のクリーニング（博物館）
- ・毎月の定期清掃
- ・定期的な温湿度測定
- ・害虫の防除
- ・エリア区分による段階的管理（博物館）

②資料・図書の整理・保管

ア 資料管理公開データベースに関する作業

「米沢市上杉博物館・市立米沢図書館収蔵文化財総合データベース」について、機能の改善、公開資料の充実や資料情報の訂正、充実につとめた。新規受入資料の登録確認、画像データベースとのリンク構築などを継続して行った。資料のラベリングや登録、追加作業を行い、登録済み資料の画像リンクやラベルプリントなど資料と直結した管理を強化した。また、管理データベース全体の不具合部分の調整も実施した。

(ア) 米沢市上杉博物館

- ・新規受入資料のうち25件（約100点）の登録、画像データベースとのリンク構築などを行った。
- ・収蔵文化財総合データベースに新規登録209点を加え、現在13,728点を公開。

(イ) 市立米沢図書館

- ・デジタル化が完了している写真データの整理を行った。
- ・市立米沢図書館デジタルライブラリーで442点の資料を継続公開した。
- ・図書館サポーターによる「岩瀬小右衛門記録」（林泉文庫413）の翻刻作業、「アメリカ国ヨリ帰国人御答之下書」（地域史料 KI006）の校正作業等。

イ 収蔵資料及び図書の整理、解読

(ア) 米沢市上杉博物館

- ・新規収蔵資料の整理に努めた（荒井家文書、古川家資料、宮島家文書など）。
- ・高島四ヶ村名主文書約100点、目賀多会寄贈資料約20点、米沢藩士書状約120点、南部家文書（米沢藩士）約30点の資料カード作成とデータ化（一部）を行った。

(イ) 市立米沢図書館

- ・1点ごとの資料データを集積して適正な排架に努め、利用者の利便性を考慮して随時整理を行った。

ウ 収蔵資料の写真撮影

新規受入資料、令和元、2年度開催展覧会出品資料の写真撮影を行った。また、収蔵資料の内部管理のために使用する写真の撮影も行った。

エ 上杉邦憲氏寄託資料整理

資料の整理および外箱のクリーニングを行った。

オ 収蔵資料及び図書の修理・点検

(ア) 米沢市上杉博物館収蔵資料の修理

i) 歴史関連資料

資料名	員数	内容
a 川中島合戦絵図 b 米沢城鳥瞰図	各一面	応急処置を行った。 修復者：東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター
c 太刀 銘口包 附黒漆塗太刀拵 d 脇差 無銘 附仕込杖拵 e 脇差 刀身銘 宗近作 附仕込杖拵	各一口	白鞘割直し、刀装具の新調などを行った。 委託先：株式会社日本刀剣

ii) 美術関連資料

資料名	員数	内容
a 後藤克芳「DUCO CEMENT」	一点	ひび、欠損の修復を行った。 修復者：及川崇（おいかわ美術修復）

(イ) 市立米沢図書館蔵書点検

実施日：自動車文庫 令和元年10月7日（月）～10月8日（火）
 本館 令和2年1月31日（金）～2月6日（木）
 不明本：91冊（全蔵書341, 648冊 ※令和2年2月23日現在）
 不明率：約0.03%

カ 市立米沢図書館所蔵資料の除籍・廃棄

亡失や汚破損等で不要となった資料について、条例・規程に基づき除籍・廃棄を行った。

図書、雑誌、AV資料：6,591点

新聞：毎日新聞	平成29年	4月	1日～平成30年	3月31日分
読売新聞	平成29年	4月	1日～平成30年	3月31日分
日経新聞	平成28年	4月	1日～平成29年	3月31日分
産経新聞	平成29年	4月	1日～平成30年	3月31日分
河北新報	平成28年	4月	1日～平成29年	3月31日分
スポーツ報知	平成30年	4月	1日～平成31年	3月31日分
日刊スポーツ	平成30年	4月	1日～平成31年	3月31日分
毎日小学生新聞	平成28年	4月	1日～平成30年	3月31日分

2 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業

(1) 家庭教育の向上や学校の学習活動の支援に力を注ぎ、子どもの読書活動を推進する

①子どもの読書活動を推進する事業

市立米沢図書館では「米沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の推進に関する事業や、蔵書を活用した事業を行った。

ア 読書活動推進事業

(ア) おはなしかい

参加者数：計 439名

サポーターや外部ボランティア団体の協力を得ながら、子どもや親子を対象とする読み聞かせ活動を行い、本や図書館、読書への興味を持ってもらうことを目指した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2～3月中の開催を一部中止した。

(イ) ブックスタート

参加者数：親子442組

米沢市主催の7か月児健診の際、参加した親子を対象に読み聞かせを行い、本と触れ合う楽しさを感じてもらうことを目指した。参加者だけでなく、健診未受診者へも絵本をプレゼントした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月中の開催を中止した。

(ウ) 「アタゴオルによる絵本読み聞かせ」、「小学校巡回文庫」

自動車文庫「アタゴオル」で市内の保育園など4か所に出向き、読み聞かせと本の貸出し体験を行う「アタゴオルによる絵本読み聞かせ」を4回開催した。また、市内の小学校18校へ巡回し、テーマ別の図書の貸出を行った。

(エ) 令和元年度 米沢市小中学生読書感想画展

観覧者数：合計 約 1,937名

子どもたちの読書意欲を高めるとともに、柔らかな感性と豊かな想像力を育むことを目的とし事業を展開した。11月から読書感想画の作品募集を開始し、審査会后、小中学生の作品計499点を展示した。

展示期間：令和元年12月11日（水）～12月15日（日）

展示場所：よねざわ市民ギャラリー

- イ 2019夏休みこども図書館フェア 参加者数：269名
子どもたちに本や図書館、読書への興味を促すため、読み聞かせやワークショップ、館内ツアーなど9つのプログラムを企画した。
開催期間：令和元年 7月26日（金）～ 8月 4日（日）

- ウ ナセBA読書スタンプラリー 参加者数：484名
市内の小学生を対象に、学校図書室や市立米沢図書館等で本を貸出した際付与するスタンプ数に応じ、クリアファイルとしおりをプレゼントした。
開催期間：令和元年11月 1日（金）～令和2年 3月31日（火）
協 賛：公益財団法人近野教育振興会、精英堂印刷株式会社
協 力：mizutama氏（イラストレーター）

（2）日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、学社連携を推進する

①地域・学校との連携

ア 学校の利用

見学対応のほか、出前授業や出前ブックトーク、連携授業を展開した。

（ア）米沢市上杉博物館

- ・施設利用、見学
年間33件 1,879名 受入
- ・プレイショップ利用
年間11件 149名 利用
- ・ミュージアムスクール（学校側が来館し、学芸員が授業に参加したもの）
年間 2件 108名 受入
- ・出前授業（博物館側が学校へ資料を持って出向くもの）
年間 9件 502名 受入
- ・アーティスト出前授業「日本画をたのしもう～記憶の中の絵画～」
実施 3回 7校 493名 受入
日時：令和元年 6月17日（月）、6月20日（木）、6月21日（金）
講師：福王寺一彦氏（日本藝術院会員・日本美術院同人）
- ・米沢市教育研究会生活科総合部会
年間 1件 ワークショップ、造形体験の実践 14名 受入

（イ）市立米沢図書館

- ・施設視察、見学
年間 小学校 13件 約462名
一 般 21件 約381名 受入
- ・出前ブックトーク（図書館側が学校へ出向き本を紹介するもの）
年間 2件
- ・小学校図書館部会
年間 1件 施設見学対応
講師3名派遣 テーマ：「ブックトーク実演及び市立図書館経営について」
- ・米沢善本見学会
年間 1件 140名 受入（山形県立米沢女子短期大学国語国文学科1年生）

イ 職業体験、博物館実習の受け入れ

- ・職場体験 米沢市上杉博物館：年間1件（市内中学生）14名受入
市立米沢図書館：年間4件（市内中高生、大学生、社会人）9名受入
- ・博物館実習 5大学 10名 受入（期間：8月20日（火）～8月25日（日））

ウ 博物館無料観覧証の発行と利用促進

米沢市上杉博物館では、市内中学校、置賜地区内高等学校の生徒が展示室へ無料で入館できる「観覧証」の利用を呼びかけ、自発的学習の場としての博物館利用を促した。

②体験学習プログラムの展開

米沢市上杉博物館において、子どもたちの想像力と創造力をのばす造形や日本の手わざを体験するプログラムを提供した。

ア 常設プレイショップの展開

年間利用者数：9,864名

日本の年中行事の紹介や月ごとの造形体験の充実や新プログラムの提供で、世代を超えて多くの方に楽しんでいただいた。材料、手法の吟味に時間をかけ、より完成度の高い造形に導けるよう努力しリピーターの増加につなげた。

清潔・安全・安心に十分配慮することはもとより、配布資料の見易さへの配慮や、体験学習室全体の利用しやすい雰囲気づくりを常に心がけた。また、定期的な勉強会で来館者対応のスキルアップを計り、カスタマーデライトを目指した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日以降の運営を休止した。

イ ワークショップの開催

年間参加者数：530名

(ア) 募集制プログラム

新しいプログラムや夏休みの特別プログラムを加えるとともに、定番プログラムのブラッシュアップにより多様なニーズに対応した。

活動15年目を迎えたチルドレンキュレーターズ（こども学芸員）は、国宝上杉本洛中洛外図案内人デビューに向けた練習や、昨年度から取り組んだチルドレンキュレーターズプレゼンツ 募集制ワークショップ 「身近なものでつくろう！～ペーパー芯のお花のリース～」「日本の手わざ～紙と糸 和綴じの知恵～」を開催し、14名の参加者があった。

（年間15プログラム実施・参加者136名）

(イ) 自由参加制プログラム

「笹巻きっていいなあ」、愛の兜折り紙ボランティア会の協力による「かわりかぶとに挑戦」、米沢とんとむかしの会（伝国の杜サポーター）の協力による「むかしむかしをきこう」を5回開催した。「むかしむかしをきこう」最終回は拡大版として大会議室を会場に開催し、当館での語り15周年を振り返った。

（年間3プログラム計7回実施・参加者394名）

(3) 生涯学習施設また地域の交流拠点として、市民の学習と活動の機会を提供する

①多様な学びを提供する事業

市立米沢図書館において、特色ある郷土資料を用いた講座などを実施した。また、新規に英語多読講座、英語多読サロン、英語多読相談会、読書会等の事業を展開し、蔵書により親しんでもらう機会づくりを進めた。

ア 講座の開催

(ア) 第63回古文書解説講座 参加者数：45名

i) 第1回 〈前半〉「置賜地方の近世文書を読む」〈後半〉「上杉謙信関係の文書を読む」

令和2年 2月15日(土) 10:00～16:00

講師：〈前半〉小林文雄氏(山形県立米沢女子短期大学教授)

講師：〈後半〉阿部哲人(米沢市上杉博物館学芸主査)

ii) 第2回 「上杉鷹山関係の文書を読む」

令和2年 2月22日(土) 10:00～16:00

講師：青木昭博(市立米沢図書館主幹)

(イ) 第30回古典文学講座 参加者数：49名

i) 第1回 『古今和歌集』と『新古今和歌集』

令和元年11月16日(土) 14:00～15:30

講師：石黒志保(主任郷土資料員)

ii) 第2回 『源氏物語』の音楽—女三宮と琴(きん)の琴(こと)をめぐる—

令和元年11月23日(土祝) 14:00～15:30

講師：岩原真代氏(米沢女子短期大学准教授)

iii) 第3回 「伊佐早謙の漢詩集『縦軒稿(しょうけんこう)』を読み解く

—沖繩調査時期を中心に—

令和元年11月30日(土) 14:00～15:30

講師：新宮 学氏(山形大学附属博物館館長)

(ウ) 第34回ふるさと歴史講座 参加者数：104名

i) 第1回 「上杉鷹山と細井平洲」

令和元年10月 8日(火) 18:30～20:00

講師：宮田直樹氏(米沢市教育員会文化課)

ii) 第2回 「鷹山の史跡あれこれ」

令和元年10月15日(火) 18:30～20:00

講師：遠藤 英氏(九里学園高等学校教諭)

iii) 第3回 「荏戸善政著『翹楚篇』に見る上杉鷹山」

令和元年10月23日(火) 18:30～20:00

講師：青木昭博(市立米沢図書館主幹)

イ 2019読書週間図書館フェアの開催 参加者数：491名

秋の読書週間に合わせて開催し、雑誌の付録抽選会や本のフィルムコート等蔵書を活用したイベント、講師を招いての「えいごのおはなしかい」や、朗読ライブ等7つのプログラムを行った。

開催期間：令和元年10月25日(金)～11月10日(日)

ウ 読書会 参加者数：33名

参加者が読書後の感想や意見を互いに披歴し合うことで、より良い読書体験をもたらす契機とすることを図るとともに、読書を好む利用者同士の語らいの場となることを目指した。

i) 令和元年5月 4日(土) テーマ「私のお薦めする本」

ii) 令和元年7月 6日(土) テーマ「小川未明を読む」

iii) 令和元年9月 7日(土) テーマ「中島敦『山月記』を読む」

- iv) 令和2年1月25日(土) テーマ「2019年、私のこの一冊」
講師：清野春樹氏(芸文協副会長、高等学校非常勤講師)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月以降の開催を中止した。

- エ ナゼ BA 英語多読サロン 参加者数：122名
令和元年度より受入を開始した英語多読資料を用いた英語多読の実践の場とした。第6回目には酒井邦秀氏(NPO法人多言語多読理事)をゲストに招き、参加者からも好評を得た。
i) 第1回 令和元年 8月24日(土) ii) 第2回 令和元年 9月28日(土)
iii) 第3回 令和元年10月26日(土) iv) 第4回 令和元年11月24日(土)
v) 第5回 令和元年12月22日(土) vi) 第6回 令和2年 1月26日(日)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月以降の開催を中止した。

- オ 英語多読相談会 参加者数：11名
英語多読の実践に取り組んでいる方や関心がある方への質問回答やアドバイスを行った。
i) 第1回 令和元年 9月 9日(月) ii) 第2回 令和元年10月15日(月)
iii) 第3回 令和元年11月14日(木) iv) 第4回 令和元年12月 9日(月)
※内部都合がつかず1月に予定していた第5回目は中止、
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月以降の開催を中止した。

②講演会、展示解説

ア 講演会、イベント

展示内容の理解深化を目的に、米沢市上杉博物館、市立米沢図書館、米沢市民ギャラリーのそれぞれ2事業で講演会やトークイベント等を開催した。

(ア) 米沢市上杉博物館

- i) 特別展「上杉家 葵の姫のものがたり」関連
◇講演会「尾張徳川家の姫と婚礼調度」 参加者数：約70名
令和元年 5月11日(土) 14:00~16:00
講師：吉川美穂氏(徳川美術館マネージャー学芸員)
◇トークイベント「葵の姫のものがたりと上杉家」 参加者数：約170名
令和元年 5月19日(日) 14:00~15:00
出演：前田利祐・萬理子御夫妻、松平頼武・豊子御夫妻、徳川恒孝・幸子御夫妻、
松平宗紀・智子御夫妻、保科正興・雅子御夫妻、上杉邦憲・紀美子御夫妻、
鷹司尚武・久美子御夫妻、大坪喜美雄・和子御夫妻

- ii) 特別展「上杉家 武家の文化 公家の文化」関連
◇「十二単」着装実演 参加者数：60名
令和元年 9月21日(土) 10:00~11:00
講師：冷泉通子氏(衣紋道研究家)
◇講演会「武家の発生と公家文化」 参加者数：45名
令和元年11月 9日(土) 10:00~12:00
講師：藤本孝一氏(龍谷大学客員教授)

(イ) 市立米沢図書館

i) 先人顕彰コーナー「上杉茂憲展」関連

◇ミニ講演会「上杉茂憲 最後の米沢藩主と沖鷹」

参加者数：15名

・平成31年 4月14日(日) 13:30～15:00

・令和元年 5月19日(日) 14:00～15:30

講師：青木昭博(市立米沢図書館主幹)

ii) 英語多読講座

参加者数：54名

・第I部(一般対象) 13:00～14:45

・第II部(教育関係者対象) 15:00～16:25

講師：西澤 一氏(国立豊田高等工業専門学校教授)

(ウ) よねざわ市民ギャラリー

「日本画家 福王寺一彦・福王寺みどりこの世界」関係

◇アーティストトーク&ライブペインティング

参加者数：148名

・令和元年6月19日(水) 14:00～

・令和元年6月23日(日) 14:00～

・令和元年6月30日(日) 14:00～

出演：福王寺一彦氏・福王寺みどりこ氏

イ 展示解説

(ア) ギャラリートーク

参加者数：年間590名

米沢市上杉博物館において、特別展・企画展・コレクション展にあわせたギャラリートークを年間16回開催した。

i) 特別展「上杉家 葵の姫のものがたり」

平成31年 4月20日(土) 14:00～、4月27日(土) 14:00～

令和元年 6月 1日(土) 14:00～

講師：角屋由美子(米沢市上杉博物館学芸主査)

ii) 企画展「日本画家 福王寺法林」

令和元年 6月15日(土) 10:30～、6月16日(日) 14:00～

6月23日(日) 11:00～、6月30日(日) 11:00～

7月14日(日) 14:00～、8月 4日(日) 11:00～

講師：福王寺一彦氏(日本藝術院会員・日本美術院同人)

花田美穂(米沢市上杉博物館学芸主査)

iii) 企画展「杉山明博造形の世界」

令和元年 8月10日(土) 10:00～

講師：遠藤友紀(米沢市上杉博物館主任学芸員)

iv) 特別展「上杉家 武家の文化 公家の文化」

令和元年10月 5日(土) 14:00～「上杉家の中の公家文化」

10月12日(土) 14:00～「米沢善本の魅力」

10月26日(土) 14:00～「展覧会見どころ案内」

11月16日(土) 14:00～「国宝上杉家文書の中の公家様文書」

講師：10月5日、26日、11月16日…角屋由美子(米沢市上杉博物館学芸主査)

10月12日…佐々木紀一氏(山形県立米沢女子短期大学国語国文学科教授)

v) コレクション展「武士のお仕事」

令和2年 1月11日(土) 14:00～「展覧会のみどころ」

2月 1日(土) 14:00～「米沢藩士の調べ方」

3月 7日(土) 14:00～「米沢藩士の仕事百景」

講師：佐藤正三郎(米沢市上杉博物館主任学芸員)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月7日の開催を中止した。

(イ) コレクショントーク

米沢市上杉博物館常設展示室の上杉文華館の展示内容について、国宝上杉家文書をはじめ、古文書等の資料とともに紹介するコレクショントークを年間11回開催した。

内容は別掲。解説は学芸主査 阿部哲人。いずれも14:00から開催。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月1日の開催を中止した。

③レファレンス

米沢市上杉博物館では、収蔵資料、展覧会関連資料、置賜地域の歴史・芸術などにかかわる質問に答えることを通して、市民の学習と活動の機会を提供した。

各種レファレンスの対応	調査を要するもの	63件
	来館者・電話によるもの	多数

④出版、監修

施設の事業活動に関する書籍・冊子を発行し、協力者や市民に対するPR活動を行った。

ア 米沢市上杉博物館展覧会図録の刊行

特別展図録『上杉家 葵の姫のものがたり ー徳川家三姉妹の守刀ー』(1,000冊)

企画展図録『生誕100年 日本画家 福王寺法林～自然へのまなざし～』(600冊)

特別展図録『上杉家 武家の文化 公家の文化』(1,000冊)

イ 平成30年度米沢市上杉博物館年報の発行(500冊)

ウ 「伝国の杜だより」の発行

第36号、第37号(各5,500部)

エ 「図書館だより」の発行

第11号、第12号、第13号、第14号(各2,000部程度)

オ 市立米沢図書館郷土資料報告書の刊行

『米沢の神社・堂宮14 ー愛宕地区ー』(250冊)

カ 市立米沢図書館概要の発行(300冊)

キ 米沢市上杉博物館教育普及だよりミュージデュウの発行

春・夏・秋・冬号(各20,000枚)

⑤施設貸与事業(収益等事業2)

米沢市から指定管理者として受託する施設を、貸出基準に照らし適正に貸与した。円滑な管理運営を行うとともに、利用者のニーズを把握し、利用促進に努めた。

ア 米沢市上杉博物館会議室

利用件数： 277件

利用者数： 6,989人

イ 米沢市まちなか駐車場

利用台数： 130,495台

(4) 市民の経験や知識及びボランティアと協働し、各施設のサービスの充実に努める

①サポーター運営事業

市民の活力を取り入れた活発な事業運営を目指し、一般市民がそれぞれの興味・関心・得意分野を活かして当財団事業に参加することができるようボランティア活動の場を提供した。また、サポーター個々人の資質向上とサポーター同士の交流を目的とした伝国の杜サポーターと図書館サポーターの合同研修会ではハンディキャップを持った来館者への対応の方法を学び、実際に車椅子を体験したり、アイマスクをして図書館内を利用したりする体験を行った。

◇令和元年度 伝国の杜サポーター&図書館サポーター合同研修会

日 時：令和元年10月20日(日) 9:30～

会 場：ナセBA1階体験学習室、2階市立米沢図書館

参加者数：6名(伝国の杜サポーター4名、図書館サポーター2名)

ア 伝国の杜サポーター

登録数：29名

インフォメーション、広報、レセプション、教育普及、洛中洛外図屏風案内、図書整理の各分野における定期的な活動のほか、博物館講演会や市民茶会の事業補助、花壇の整備など職員が行っている業務をサポートしていただいた。館外でも事業のロコミを広め、知人を誘い自らサポーター勧誘を行ったり、学生が積極的に参加したりするなど、活躍の場が広がる一年となった。

イ 図書館サポーター

登録数：69名

日々の活動としての書架整理、返本作業、修理等のサポートに加え、子ども向けの読み聞かせでは「おはなしかい」や「ブックスタート」などに参加いただいた。郷土資料のサポートでは、古文書の翻刻及び入力作業と翻刻の校正作業、「上杉文書」や「米沢新聞」のマイクロフィルムからのデジタル化作業を協働し進めた。令和元年度より開始した「ティーンズサポーター」には19名の高校生の登録があり、市内小学生対象の「ナセBA読書スタンプラリー」景品のしおり作りや、ティーンズ特集コーナーの作成、ティーンズコーナーだよりの試作を行った。また「ハンディキャップサポート」も開始し、読書補助具のリーディングトラッカーや、子ども版の図書館利用案内の作成などを行った。

②伝国の杜ファンクラブ事業(収益等事業3)

令和元年度の入会者数は以下のとおりであった。会員向け事業バスツアーも3度目となり、好評であった。

会員数：308名(内 訳：一般 286名、学生 11名、ジュニア 11名)

会員に対しては下記の事業を行った。

ア 会報及び財団自主事業情報の送付

イ 米沢市上杉博物館常設展示室・企画展示室への入館特典の付与

ウ 置賜文化ホール主催事業の先行予約・割引販売(一部公演除く)

エ ミュージアムショップにて展覧会図録・オリジナル商品の10%割引販売

オ ファンクラブ会員事業の開催

バスツアー「裏磐梯の旅」諸橋近代美術館、野口英世記念館、天鏡閣

日 時：令和元年 9月16日(月・祝)

参加者数：30名(会員23名、同伴者7名)

3 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業

(1) 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会を提供し、芸術・文化活動の創造気運を高める

①よねざわ市民ギャラリー自主・共催事業

米沢市上杉博物館や市内の芸術文化団体と連携し、スライディングウォールの移動やオープンギャラリーの活用などギャラリーの機能を活かした展示を行った。

展 示	概 要
i) 「アーツよねざわ・平成ふあいなる展」	
■会期 (13日間) 平成31年 4月16日(火) ~ 4月28日(日) ■入場者数 2,259名 ■主幹 米沢市芸術文化協会	米沢市芸術文化協会への業務委託のもと、平成最後の展示会として、平成年間に活躍した市内のアーティストを選抜、その代表作を展示し、平成という時代を総括する展示を行った。
ii) 「日本画家 福王寺一彦・福王寺みどりこの世界」	
■会期 (12日間) 令和元年 6月19日(水) ~ 6月30日(日) ■入場者数 1,470名	日本美術界の重鎮福王寺法林を父に持ち、日本の風景をモチーフに、幽玄かつ神秘的な絵画世界を特徴に活躍する日本美術院同人の福王寺一彦と、同じく院展の作家であり一彦の弟子であり夫人でもある福王寺みどりことの初の二人展を開催した。会期においては福王寺一彦氏によるアーティストトーク並びにライブペインティングを開催したほか、米沢市上杉博物館にて開催された企画展「生誕100年 福王寺法林～自然へのまなざし～」会期中での開催に伴い、企画展の半券による入場料の割引等も実施した。
iii) 「ARTS MEET OKITAMA 2020 & AMO2019大賞 高橋幸子展」	
■会期 (9日間) 令和2年 3月14日(土) ~ 3月22日(日) ■入場者数 1,669名 ■共催 ARTS SEED OKITAMA 米沢市芸術文化協会	在住、出身、通勤通学など、置賜地域にゆかりのある作家又は作家志望の方を対象に、幅広く作品を募集する公募展と、前回の投票により大賞となった高橋幸子氏によるキルト及びパッチワークの個展を同時開催として行った。新たな試みとしてサイズ・価格を一律に定めて作品を募集する特別企画「同一企画展」を併せて開催し、展示目的の一つとする来場者による作品の購入活動の活発化を図った。

②オープンギャラリー展示事業

会 期：第一期：平成31年 4月26日(金) ～ 7月24日(水)
 第二期：令和元年 7月26日(金) ～ 10月23日(水)
 第三期：令和元年10月25日(金) ～ 令和2年 4月22日(水)

ナセ BA1階の通路部分を「オープンギャラリー」とし、米沢市上杉博物館収蔵の洋画、日本画、彫刻作品から計5～6点程度を、3か月ごとに展示替えをしながら公開した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度の展示替の時期を調整したことにより、第三期展示作品の一部を令和2年7月21日までの期間で展示することとした。

③芸術文化活動の支援・鑑賞事業

ア 置賜文化ホール

(ア) 米沢市共催事業

良質で低廉な有料公演を開催するとともに、市民の文化活動を支援し、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する事業を、米沢市の負担金により実施した。

公 演	概 要
i) 山形交響楽団ユアタウンコンサート2019米沢公演	
■公演日 令和元年8月21日(水) 開演 19:00 ■来場者数 390名 ■共催 山形交響楽協会	実力派ヴァイオリニスト松田理奈を迎えたメンデルスゾーン協奏曲や、人気指揮者の三ツ橋敬子の出演など、地元ファンのみならず県外からの来場者も迎えることができた。上杉敏子基金の招待事業に参加した親子らもオーケストラの生演奏を解説付きで楽しんだ。
ii) おきたまの秋空に響け!吹奏楽の日コンサート2019	
■公演日 令和元年10月13日(日) 開演 18:30 ■共催 置賜地区吹奏楽連盟	台風19号の接近により、安全確保のため、内奏、庭奏とも全公演を中止した。
iii) ボニージャックス&バイビー・ブー〜令和に歌う、大正・昭和・平成のメロディ〜	
■公演日 令和元年11月9日(土) 開演 14:00 ■来場者数 192名	結成60周年を迎えたボーカルグループ「ボニージャックス」と、コーラス・エンターテイメントグループの「バイビー・ブー」による、声だけで魅せるコンサートを開催した。大正・昭和・平成の名曲の男声によるハーモニーに、懐かしさと新しさを感じた評価の高いコンサートだった。
iv) 聖夜のトランペット “Christmas Special Concert”	
■公演日 令和元年12月7日(土)	国外在住の出演者が負傷したことにより来日できず、楽器クリニック、公演ともに中止した。
v) 山響とみんなで創る音楽会 in おきたま	
■公演日 令和2年1月13日(月・祝) 開演 15:00 ■来場者数 451名 ■共催 山形県生涯学習文化財団、 山形交響楽協会、山形県	ホールの新たな機能として、歌劇『アイーダ』凱進行進曲の演出用に仮設花道を活用した。中学生バンドや100名を超える合唱団など団体の枠を超えて参加した地域住民が、山響と音楽をともに創り上げて生まれた喜びが、壇上から客席のお客様の心にも届いたようだった。

vi) カナディアンブラス	
■公演日 令和2年 1月30日(木) 開演 18:30 ■来場者数 294名	世界で活躍する金管アンサンブルによるコンサートを開催した。吹奏楽部の中高生を招待して、一流の演奏を聴きテクニックを学ぶ機会を設けることができた。
vii) 三遊亭好楽・林家たい平二人会	
■公演日 令和2年 2月16日(日) 開演 14:00 ■来場者数 347名	テレビ等で活躍する落語家を招いて落語会を開催した。話芸だけでなく、テレビで評価の高いパフォーマンスも披露され、笑いの絶えないひと時となった。
viii) 市民ミュージカル育成事業	
■指導日 平成31年4月～ 令和2年2月まで 講師派遣11回 ■講師レッスン参加者数 15名(通年)	プロが育成する常設の市民劇団という東北でも珍しい形態で、2009年に米沢市が創設、活動をスタートした。現在は月1回のペースで講師による指導と週1回の団内練習を積み重ねている。成果発表は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(イ) 山形県補助事業(地域文化力育成事業)

山形県からの補助金により以下の公演、事業を実施した。置賜地域の文化拠点施設として定着していくことを目指し、アマチュア活動団体等に活躍・研鑽の場を提供することにより、地域の文化向上とホールの賑わい創出を図った。

公 演 ・ 事 業	概 要
i) Jazz Café Live～大村武司トリオ&テリー橋本～	
■公演日 令和元年 8月 1日(木) 開演 19:00 ■来場者数 84名	ドリンク片手に80席限定の空間で生演奏を楽しむ恒例のカフェライブを開催してきた。心待ちにするファンのクチコミが新たな客層を呼びこみ完売が続き、ミュージシャンとオーディエンスの呼応が一期一会の音楽を生み出し、今年も満足度の高い事業となった。
ii) 楽器体験ワークショップ	
■公演日 令和元年 9月22日(日) 開演 14:00 ■来場者数 225名	楽器メーカーYAMAHA から体験用に管楽器を借用し、地域の子どもたちに本物の楽器に触れてもらうことで音楽をより身近なものにしようとした本企画は、吹奏楽愛好家の献身な指導が奏功し、参加した子どもたちの関心度にあわせた演奏体験の場を提供できた。
iii) Jazz Café Live～TOMTICAN～	
■公演日 令和2年 2月 6日(木) 開演 18:30 ■来場者数 86名	上杉雪灯籠まつりに合わせて冬から春を愛でるナンバーを中心に選曲され、女性ヴォーカリストの魅力あふれる演奏が来場者を魅了した。冬ならではのドリンクメニューを企画し、カフェ Culture と置賜文化ホールの共同プログラムとして、今回も好評だった。

iv) 伝国の杜オーケストラ事業	
■活動期間 令和2年 1月19日(日) ~ 2月23日(日)	2月までに、山形交響楽団員による弦楽器講習会や、指揮者を招いた合奏練習を行った。
■参加者数 71名	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月8日の公演を中止した。

イ 米沢市市民文化会館

米沢市市民文化会館米沢市共催事業として、芸術、文化、レクリエーションに触れる機会を提供し、その普及振興を図り、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する公演を開催した。

公 演	概 要
i) 開館50周年記念事業 みっぺFes	
■公演日 平成31年 4月27日(土) 開演 10:00 ■来場者数 504名	文化会館の開館50周年を記念して、これまで文化会館を利用した団体による発表会を開催した。特別ゲストによるマジックショーや露店の出店によりお祭り風なイベントとなり、盛大に「文化会館の誕生日」を祝った。
ii) DRUM TAO「SPECIAL LIVE 2020」	
■公演日 令和 2年 3月16日(月)	例年好評の声をいただいている和太鼓エンターテインメント DRUM TAO によるライブを計画・広報したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期を決定した。

ウ よねざわ市民ギャラリー

月に1回の図書館休館日(第4木曜日)を利用し、ギャラリー展示室にて「ウッディコンサート」を計7回(プロ演奏者によるもの1回・アマチュア演奏者によるもの6回)開催した。木管楽器、金管楽器、鍵盤楽器、打楽器など多様な楽器からなる演奏会となり、中心市街地のにぎわいづくりの一助ともなった。

(ア) 第18回「folklore〜アンデスの調べ〜」

開催日：平成31年 4月25日(木) 19:00～

来場者数：75名

(イ) 第19回「木管五重奏&弦楽五重奏」

開催日：令和元年 5月23日(木) 19:00～

来場者数：64名

(ウ) 第20回「ドリームコラボレーションコンサート

～みんなのエネルギーを歌にのせて～

開催日：令和元年 7月25日(木) 19:00～

来場者数：92名

(エ) 第21回「真夏の室内楽 木管デュオ

開催日：令和元年 8月22日(木) 19:00～

来場者数：180名

(オ) 第22回「女声合唱団 コラール・ド・めざみ」

開催日：令和元年 9月26日(木) 19:00～

来場者数：106名

(カ) 第23回「アンサンブル《蓮》」

開催日：令和元年10月24日（木）19：00～

来場者数：76名

(キ) 第24回「米沢中央高等学校音楽部」

開催日：令和元年11月28日（木）19：00～

来場者数：35名

④収蔵資料の貸出

博物館以外の場所で市民が実物資料に触れる心豊かな文化体験の機会をつくるため、米沢市上杉博物館収蔵の美術作品を市内の学校・公共施設に貸し出した。

年間 38点

(2) 充実した展示機能で新たな芸術活動にも対応し、市民の活動成果を広く公開する

よねざわ市民ギャラリーにおいて、置賜地域に縁のある作家または作家志望者から、幅広く作品を公募する展覧会を開催した。合わせて前年度同企画での大賞受賞者の個展を開催した。

「ARTS MEET OKITAMA 2019 & A.M.O.2020 大賞展」(再掲)

(3) 活動を楽しみ交流する場を提供し、次世代を担う子どもや若手芸術家を育成する

市民や、置賜地方・東北地方を拠点とするアーティストの芸術文化活動を支援するため、置賜文化ホールの米沢市共催事業としてよねざわ市民ミュージカルの育成事業(再掲)を、よねざわ市民ギャラリーにおいて、「ウッディコンサート」(再掲)7回の公演のうちアマチュア演奏を6回行った。

よねざわ市民ミュージカル育成事業

よねざわ市民ギャラリー ウッディコンサート

(4) 能舞台を活用して伝統芸能の継承・普及につながるプログラムを展開する

①能楽関係事業

施設の特長をいかし、藩政時代より現代に継承されてきた能楽の普及を図った。一方でこども狂言の育成に取り組み、地域に活動を紹介することでも能楽振興に貢献した。

企 画	概 要
ア 令和元年度山形県能楽の祭典	
■公演日 令和元年 9月 8日(日) 開演 9：30 ■来場者数 120名 ■共催 山形県能楽協会	山形県内の能楽愛好家による発表の場を設け、各団体の研鑽と交流の場を提供した。こども狂言クラブも出演し、団体全体の交流の輪が広がった。チラシに公演の詳細を記入する、モニターに能舞台移動の様子を流し気軽にホールを覗いてもらえるようにするなど工夫した。
イ こども能楽ワークショップ	
■公演日 令和元年 5月18日(土) 米沢 … 開演 10：30 白鷹 … 開演 14：30 ■来場者数 75名	ホールと能楽師、狂言師が連携して独自の体験プログラムを開発した。幼児から小学生までの参加者と保護者などは、実際に能で使われる“蜘蛛の巣”を投げてみたり、面をつける視野の狭さを実感しながら能舞台を歩くなど、楽しみながら知識を得ていった。

ウ 伝国の杜こども狂言クラブ	
■狂言師の稽古 令和元年5月～ 令和2年2月まで 計9回	4歳から中学生まで9名の地元の子どもたちに狂言の稽古を実施した。一年を通してプロの狂言師から指導を仰いだ。 年度末の成果発表会で披露する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月の稽古及び発表会は中止とした。
■自主稽古会 随時	
■発表 「山形県能楽の祭典」など 計4回	
■参加者数 9名	

4 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業

(1) 上杉家・米沢藩及び郷土作家研究の拠点として、広く開かれた施設をめざす

①特別利用・掲載利用・資料貸与

管理条例に基づき、迅速かつ正確に申請の收受、許諾業務を行った。

ア 米沢市上杉博物館

特別利用の受付と対応		30	件
館蔵資料の掲載および写真貸与許可等の処理（資料管理と連動）		392	件
資料貸出の受付と対応		13	件
市保有近現代美術作品入替作業の出納立合い	1回	7	点
ナセBAオープンギャラリーへの作品の貸出		16	点
よねざわ市民ギャラリー自主事業への作品貸与		2	点
市立米沢図書館郷土資料自主事業への作品貸与		16	点

イ 市立米沢図書館

古文書・古典籍の閲覧	210	件	659	点
古文書・古典籍の撮影	171	件	301	点
古文書・古典籍の貸出	23	件	237	点
その他特別貸出（禁帯本等）	3	件	3	点
館蔵資料の掲載および写真貸与許可等の処理	34	件		

②米沢市上杉博物館ミュージアムショップ事業（収益等事業1）

令和元年度は下記の事業を行った。

- ア 来館者にとって魅力あるショップを目指し、日常の業務を適正に行った。
- イ 展覧会会期中の販売品目の選定、陳列など、時宜に応じた運営を行った。
- ウ 来館者のニーズに対するマーケティングリサーチを行い、地元企業などとの連携を図りながら新規商品の開発について検討した。
- エ より広範囲への商品販売と施設の告知を狙いインターネットでの販売を継続した。またインターネットでの情報発信も積極的に行った。
- オ 市立米沢図書館と連携し、博物館展覧会図録や図書館刊行物等出版物を相互に販売した。

【オリジナル商品に関する開発等の実績】

■新規商品 3商品

歴史関係商品：松竹梅鶴亀葵紋蒔絵具桶 チャーム付ブックマーカー
 橘松竹葵紋蒔絵鏡箱 缶ミラー
 一筆箋 上杉鷹山 和歌

■再販商品 11商品

洛中洛外図関連商品：Tシャツ、ジグソーパズル、マグネット
 上杉氏関連商品：マグネット、キーホルダー、手拭い
 その他の商品：米織小紋商品、ぐい呑み

(2) 市民の伝統文化活動を支援するとともに、歴史・芸術・文化の情報発信に努める

①芸術文化活動のための施設貸与

ア よねざわ市民ギャラリー

市民の多様な芸術文化活動の成果発表の場として、第1～9展示室、体験学習室を貸与した。さまざまな分野の作品に合わせ展示ができる施設の機能を活かし、絵画作品や書道、写真等の平面作品、彫刻や生け花といった立体作品等の発表に活用された。米沢の刺し子や尾花沢の上の畑焼き作陶など地域伝統工芸の展覧会や、山形県全域の高校が参加する総合文化祭（書道・華道・新聞部門）も開催され、展示室は市内外の作品で賑わった。

体験学習室は、ギャラリー利用団体によるワークショップ、米沢雪灯籠まつりの竹あかりの制作やハーバリウムフラワー制作教室、その他市立米沢図書館主催の講座・講演会など幅広く利用があった。

(ア) 展示室

年間利用件数： 68件
 利用者数：50,525名

(イ) 体験学習室

年間利用件数： 70件
 利用者数：2,428名

イ 米沢市座の文化伝承館

市民が自主的に伝統的な文化活動を推進しその伝承を図ることを目的に、和室の機能を生かした「座って行く日本文化」の一つの活動拠点として施設を適正に貸与した。また、利用者のニーズを把握し、利用促進や設備の更新を計画的に進めた。

施設の利用の促進が地域文化の底上げにつながることから、施設情報のPRに努めた。

利用件数： 215件
 利用者数： 3,955名

②米沢市座の文化伝承館自主事業の実施

ア 展示事業

展 示	概 要
「米沢の絵葉書」	
<p>■会期（14日間） 令和元年 6月 1日（土） ～ 6月16日（日）</p> <p>■入館者数 473名</p>	<p>米沢市上杉博物館所蔵の絵葉書のうち、米沢・置賜に関する絵葉書を中心に展示し、明治から昭和初期にかけての地域の史跡、温泉、催事、歴史的な出来事、産物、レジャーなどを紹介した。絵葉書の整理（被写体の調査と文字情報の集約、画像データ化）を進め、その成果を公表した。伝国の杜サポーターの協力を得て、資料の整理・情報収集・広報などを進めた。</p>

イ 伝統文化普及事業

企 画	概 要
「第29回 市民茶会」	
■開催日 令和元年 6月16日(日) 10:30~15:00 ■参加者数 170名	令和となって初めての市民茶会に、老若男女を問わず多くの市民が参加した。米沢茶道連合会の会員などが、米沢市座の文化伝承館の和室2部屋に季節を彩る茶花や軸飾りを設え、釜を懸けて抹茶を提供。初心者が多く、「茶道」のもてなしの心を丁寧に解説して好評を得た。

ウ 芸術文化活動のための支援・鑑賞事業

企 画	概 要
「リコーダーアンサンブル花音コンサート」	
■開催日 令和元年10月19日(土) 第1回 13:30~ 第2回 15:30~ ■来場者数 合計35名 (1回目23名・2回目12名)	蔵スペースを活用してコンサートを開催した。川西町を拠点に活動するリコーダーアンサンブル花音のメンバーによるリコーダー多重奏コンサートで、来場者は幅広いレパートリーのリコーダーの音色を楽しんだ。演奏者と共にリコーダー演奏に参加するプログラムもあり、有意義な時間をつくることができた。

(3) 利用者の声を集め反映する仕組みを整え、市民に開かれた運営をめざす

事業ごとの内部・外部評価や来館者アンケートを実施し、その結果を分析・検討し、業務に反映することで事業やサービスの改善を図った。

(4) 上杉文化エリアの施設・団体と協力し、価値ある文化及び観光の交流拠点をめざす

上杉文化エリア懇話会へ参加し、米沢市歴史文化拠点地区内にある諸団体と交流、情報交換を行いながら連携し、歴史、文化、観光の交流拠点となるべき活動を行った。

米沢市上杉博物館では、米沢市を訪れる観光客に幅広く館の情報をPRするため、道の駅米沢に設置された周遊促進ツール「まちナビカード」に参画した。持参者には入館料の団体割引の特典を付与した。

利用者数：824名

(5) まちづくりネットワークと連携し、にぎわいと活力あるまちづくりに寄与する

米沢市中心市街地活性化協議会等と連携してにぎわいづくりに貢献した。
 ナセBAの「こまや」を活用した地元商店街や各種団体の事業に協力した。

5 財団の適正な運営に関する事業

(1) 公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める

①施設の管理、運営

指定管理者として管理・運営を行う施設について、財団の定款や諸規定に基づき、関連法令及び諸規程、契約・協定を遵守し適正に管理を行った。

②広報、宣伝

広告予算を使った有料媒体のほか、費用のかからない無料媒体を活用し、当財団事業および施設に関する PR 活動を行い、入館者増に努めた。

ア 有料、無料の広告媒体を使つての PR 活動を行った。

イ HP 等 Web 媒体を使つての PR 活動及び収蔵品の紹介を行った。施設ごと Twitter アカウントを用い、リアルタイムで更新される特性をいかして事業告知を行った。

ウ チラシ、ポスター等の媒体を使つての PR 活動を行った。

エ 近隣施設等への直接持参による PR 活動を行った。

オ 米沢市上杉博物館では、中高生の「無料観覧証」や無料入館日、開館延長等に関する案内と周知に努めた。

(2) 施設個々の機能の向上と発揮に努めるとともに、施設相互の適切な連携を進める

①施設間での連携

財団の各事業を紹介するため、施設相互でポスター等を設置した。各施設で十分な市民サービスを提供できるよう、関係機関との連携強化や情報交換に努めた。

また、伝国の杜とナセ BA の行き来を推奨し青少年・こどもの「まなび」を応援する事業として、小中高大生を対象とし、市立米沢図書館の利用者カード提示で米沢市上杉博物館の入館料を団体割引料金とした。

利用者数：43名

②置賜地区公共図書館（室）連絡協議会への加盟、運営

市立米沢図書館が事務局となり、置賜地区3市5町の公共図書館（室）が加盟する協議会で年3回の会議を実施した。発行物『おすすめ絵本～おきたまセレクション～』の作成を12月に行い、絵本のリストを教育施設や公共施設などへ配布した。

(3) 入場者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む

地震や火事を想定した避難訓練を伝国の杜とナセBAでそれぞれ年2回実施した。

また、各施設に設置された AED を職員が正しく使用できるよう救急救命講習へ定期的に参加し、緊急時に適切な救命処置を施せるよう技能を学んだ。

(4) 複数の内部評価・外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める

各事業について内部評価を実施し事業総括に反映させた。

また、運営協議会委員による外部評価及び来館者アンケートを実施した。

①財団内部評価

財団の目標及び運営方針に則った内部評価シートを作成して自己評価に取り組み、運営と業務の改善を図った。

②運営協議会

米沢市上杉博物館と置賜文化ホール自主事業、市立米沢図書館とよねざわ市民ギャラリーについて、その事業等の質、来館者の利便性、利用率の向上等を達成するために、第三者から幅広い意見を得る場である運営協議会を年2回ずつ開催した。委員からは管理・事業運営全般にわたり様々な意見や提言を頂戴した。

ア 伝国の杜運営協議会

(ア) 第1回 開催日時：令和元年 7月24日(水) 10:00～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

議事

- i) 平成30年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団運営自己評価について
- ii) 令和元年度 米沢市上杉博物館・置賜文化ホールの主な事業について
- iii) 伝国の杜(博物館、ホール)は、皆さんの仕事や生活等のなかでどんな役割を果たしていますか
- iv) 伝国の杜(博物館、ホール)で企画してもらいたいものは
- v) その他

(イ) 第2回 開催日時：令和元年12月16日(月) 10:30～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

議事

- i) 令和元年度第1回伝国の杜運営協議会における意見・要望について
- ii) 令和元年度公益財団法人米沢上杉文化振興財団運営中間評価について
- iii) 令和2年度米沢市上杉博物館・置賜文化ホールの開催予定事業について
- iv) その他

イ ナセBA運営協議会

(ア) 第1回 開催日時：令和元年 7月26日(金) 15:00～

開催場所：ナセBA体験学習室

議事

- i) 平成30年度公益財団法人米沢上杉文化振興財団運営自己評価について
- ii) 令和元年度市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーの主な事業について
- iii) 図書館サービスについて
- iv) ナセBA利用者増にむけた取り組みについて

(イ) 第2回 開催日時：令和2年 1月29日(水) 15:30～

開催場所：ナセBA体験学習室

議事

- i) 第1回ナセBA運営協議会の意見要望に対する取り組みについて
- ii) 令和元年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団運営中間評価について
- iii) 令和2年度 市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーの開催予定事業について
- iv) その他

③スタッフ育成

定期的に勉強会・講習会を実施し、事業運営における職員のスキルアップを図った。また、来館者対応については、防災訓練や展覧会ごとの展示説明会を実施したほか、心肺蘇生法およびAED使用法に関する救急処置実施講習会に参加し資質の向上に努めた。また、分野ごとの業務の遂行に関する指導等を行った。

- ・定期的な勉強会や研修会の実施
- ・新規採用者の研修

財団役員会の開催実績

【理事会】

①5月通常理事会

開催日時：令和元年 5月24日（金） 13：30～

開催場所：伝国の杜大会議室

議事

- | | |
|-------|---|
| 報告第1号 | 平成31年3月22日理事会以降の職務執行状況について |
| 第1号議案 | 平成30年度事業報告及び附属明細書の承認について |
| 第2号議案 | 平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について |
| 第3号議案 | 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について |
| 第4号議案 | 定時評議員会に提出する理事の補欠選任に関する事項について |

②6月臨時理事会

開催日時：令和元年 6月15日（土） 定時評議員会終了後

開催場所：伝国の杜大会議室

議事

- | | |
|-------|---------------|
| 第1号議案 | 副理事長の選定について |
| 第2号議案 | 顧問の選任について |
| その他 | 理事長の職務代行者について |

③11月臨時理事会

開催日時：令和元年11月27日（水） 13：30～

開催場所：伝国の杜大会議室

議事

- | | |
|-------|--|
| 報告第1号 | 令和元年5月24日通常理事会以降の職務執行状況について |
| 第1号議案 | 公益財団法人米沢上杉文化振興財団組織規程の一部改正について |
| 第2号議案 | 公益財団法人米沢上杉文化振興財団事務決裁規程の一部改正について |
| 第3号議案 | 公益財団法人米沢上杉文化振興財団印規程の一部改正について |
| 第4号議案 | 公益財団法人米沢上杉文化振興財団就業規程の一部改正について |
| 第5号議案 | 公益財団法人米沢上杉文化振興財団育児・介護休業規程の一部改正について |
| 第6号議案 | 公益財団法人米沢上杉文化振興財団臨時職員就業規程の一部改正について |
| 第7号議案 | 公益財団法人米沢上杉文化振興財団個人情報保護規程の一部改正について |
| 第8号議案 | 公益財団法人米沢上杉文化振興財団臨時職員育児・介護休業規程の一部改正について |

- 第9号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団準職員就業規程の設定について
- 第10号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団嘱託職員就業規程の設定について
- 第11号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団短時間勤務職員就業規程の設定について

④3月通常理事会

開催日時：令和2年 3月24日（火） 15：00～

開催場所：伝国の杜大会議室

議事

- 報告第1号 令和元年11月27日臨時理事会以降の職務執行状況について
- 第1号議案 令和2年度事業計画（案）の承認について
- 第2号議案 令和2年度収支予算（案）の承認について
- 第3号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団組織規程の一部改正について
- 第4号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団就業規程の一部改正について
- 第5号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団職員給与規程の一部改正について
- 第6号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団短時間勤務職員就業規程の一部改正について
- 第7号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団ハラスメント防止規程の設定について

【評議員会】

①定時評議員会

開催日時：令和元年 6月15日（土） 15：00～

開催場所：伝国の杜大会議室

議事

- 報告第1号 平成30年度事業報告及び附属明細書について
- 第1号議案 平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について
- 第2号議案 理事の補欠選任について

【理事・評議員合同会議】

開催日時：令和元年 6月15日（土） 臨時理事会終了後

開催場所：伝国の杜大会議室